

異人館創建150年記念・世界遺産イベント

世界遺産

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」
—日本の近代化はじまりの地 集成館—
・旧集成館 ・寺山炭窯跡 ・関吉の疎水溝

入場無料
先着600名
※応募方法は裏面参照

明治5年(1872)の磯地区【尚古集成館蔵】

島津斉彬像【尚古集成館蔵】

五代友厚

石河確太郎【尚古集成館蔵】

2017. 11/18 (土) 12:30開場 13:00開演 16:20終演
会場/鹿児島市中央公民館ホール (山下町5-9)

写真コンテスト表彰式 (部門①「遺産の“魅力”」 ②「次世代への“継承”」 ③「にぎわい“観光”」)

第1部
演劇

「鹿児島異人館物語～小さな小さな友好革命」
公演 劇団上町クローズライン

第2部
講演会

「異人館と薩摩藩—島津斉彬・五代友厚・石河確太郎の情熱—」
講師 歴史作家 **桐野作人**氏

主催/鹿児島市 (お問合せ: 世界遺産推進室 TEL 099-216-1504)

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」とは？

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、日本は工業立国の土台を構築し、製鉄・製鋼、造船、石炭産業という重工業分野において急速な産業化を成し遂げました。明治日本の産業革命遺産は、そのプロセスを証明する産業遺産群で九州・山口など8県11市の23資産で構成され、2015年7月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。

鹿児島には、薩摩藩主島津斉彬が1851年に興した集成館事業に関連する3つの構成資産（旧集成館（※）、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝）があります。

※ 旧集成館には、反射炉跡や旧鹿児島紡績所技師館（異人館）、旧集成館機械工場などが含まれます。



寺山炭窯跡



反射炉跡



旧鹿児島紡績所技師館（異人館）



関吉の疎水溝

【第1部 演劇】約70分（13:30～14:40）



劇団上町クローズライン
「鹿児島異人館物語～小さな小さな友好革命」

英国人技師と、世話をする通訳藩士と作業奉行である薩摩藩士の織りなす人情劇。それぞれ身上を抱えて来日した英国人技師たち。異国の地で技術を教えるべく奮闘するも、どうしても祖国に置いてきた事情が頭から離れない。そんな彼らを束ねる工務長クロード。通訳の藩士である堀壮一郎はクロードに相談を持ちかけられるも、なかなか工場の士気が上がらない。反面、言葉は通じないながらも、意思疎通で必死にお世話をする作業奉行の男。そんな中、情勢が悪化し、内乱勃発。この薩摩の地にも危機が迫る。宿舎で繰り広げられた絆は、いったいどこへ向かうのか！

【第2部 講演会】約90分（14:50～16:20）



歴史作家
桐野作人(きりのさくじん)

1954年鹿児島県出水市生まれ。歴史作家、武蔵野大学政治経済研究所客員研究員。歴史関係の出版社の編集長を経て独立。戦国織豊期や幕末維新史を中心に執筆・講演活動を行う。主な著書に「さつま人国誌 幕末・明治編 1～3」「さつま人国誌 戦国・近世編 1～3」「島津義久」「関ヶ原 島津退き口」「孤高の將軍 徳川慶喜」「織田信長一戦国最強の軍事カリスマ」など著書多数。2007年4月から2017年3月まで南日本新聞に「さつま人国誌」（毎週月曜日）を連載。

<申込方法>

- ① 往復はがきでの申込み（一枚のはがきで4人まで可）
 - ② メール（sekaiisan@city.kagoshima.lg.jp）での申込み（1メールで4人まで可）
- ※ 件名は「世界遺産イベント」申込みとし、住所、郵便番号、名前、電話番号、参加人数を記載

<往信：おもて>

<返信：うら>

<返信：おもて>

<往信：うら>

8 9 2 - 8 6 7 7

鹿児島市山下町 11 番1号
鹿児島市世界遺産推進室
「世界遺産イベント」係

（※何も記入しない）

□ □ □ - □ □ □ □

あなたのご住所
お名前

計 人

あなたのご住所、郵便番号
お名前、電話番号
（複数名申込みの場合、
参加人数と全員の氏名）